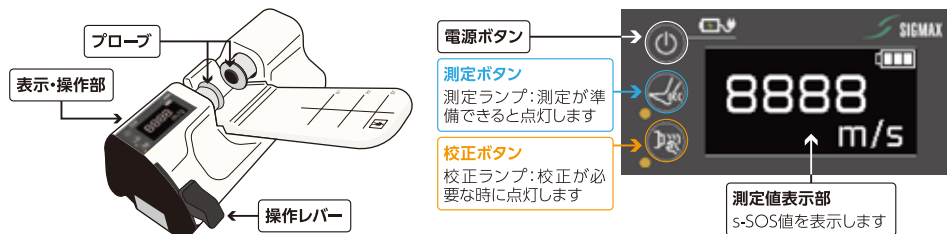


超音波踵骨測定装置FRS-100A LIAQUSポータブル フックガイド

必ず取扱説明書および添付文書をご確認ください。

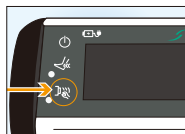
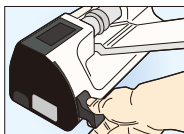
各部の名称



本体の校正

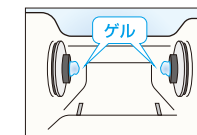
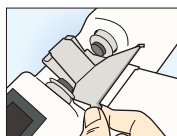
電源を入れるたびに、機器を校正する必要があります。

- ①片面のプローブに超音波ゲルを塗布し、レバーがロックされるまで下げます。
- ②校正ボタンを押します。
- ③ピープ音が鳴り以下の画面になると、校正は完了です。レバーを上げます。



使用方法

- ①被検者の足長に合わせ調整用ラバーを選択します。
- ②両側のプローブに超音波ゲルを塗布します。
- ③足置きプレートに足を置きます。レバーを下げ、ロックされたら、測定ボタンを押します。

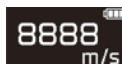


測定ボタン



足長	使用する調整用ラバー
18 cm以上22 cm未満	18-22 (2枚重ねる)
22 cm以上25 cm未満	22-25
25 cm以上	使用しません

- ④測定が終わると、測定結果が表示されます。測定結果の見方については2ページを参照してください。



測定結果

チェックポイント

- 踵が足置きプレートの踵当てについていますか?
- 第二趾が足置きプレートの中心線にあっていますか?
- 足首が直角になっていますか?



測定結果の記録方法

当社では2種類の方法を用意しています。

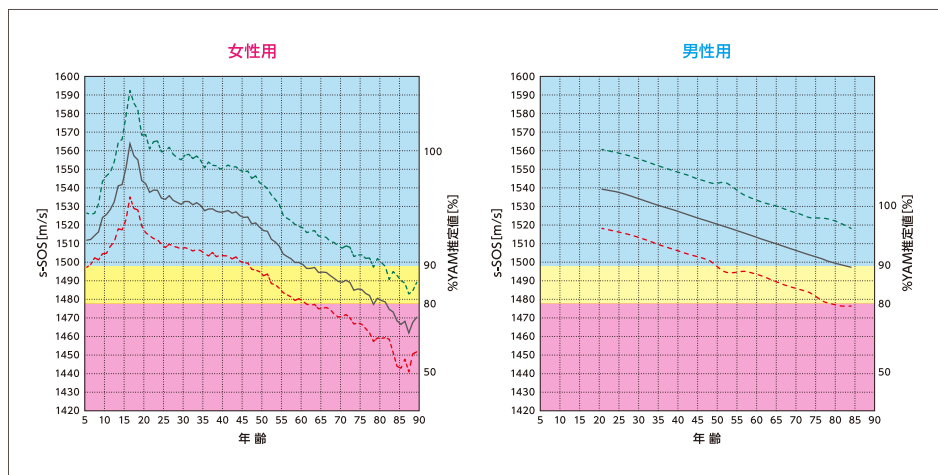
■ 当社webページで確認

1. webページにアクセスします。
<https://www.sigmax-med.jp/ases-tool/>
2. 性別、年齢、測定日、s-SOS値を入力します。
3. 評価した結果が表示されます。プリンターをお持ちの場合は評価した結果を印刷できます。



■ 記録用紙で確認 (製品に1冊付属しています)

- 女性用は表面、男性用は裏面です。
- 年齢、s-SOS値によりグラフ上の該当する位置に印をつけます。



記録用紙がなくなった場合はこちらから

記録用紙 (PDFファイル) をダウンロードする。
PDFファイルはA4サイズです。
https://www.sigmax-med.jp/wps/wp-content/uploads/2024/02/liaqus_portable_recording_sheet.pdf



記録用紙 (冊子) を入手する。
<https://www.sigmax-med.jp/medical/liaqus/contact>



お申込みはこちらから

よくあるご質問

超音波による骨密度測定とは

Q. 測定結果の数値(SOS値)は何を表していますか？

A. 超音波が踵骨部を透過する速度(音速)を表しています。
数値が低いほど骨折リスクが高いとされています。
本製品のSOS値は標準化SOS(s-SOS)を表示しています。

Q. QUS法は、DXA (DEXA) との相関がありますか？

A. やや弱い相関があることが報告されています。
QUS法では骨密度そのものを測定しているわけではありません。

Q. 校正は毎回必要ですか？

A. 電源を入れるたびに校正が必要です。被検者ごとに校正は必要ありません。

Q. 測定時の環境で気を付けることはありますか？

A. 測定は温度の影響を受けやすいため、足が冷えている場合は測定を避けてください。

Q. 診療報酬の算定は可能ですか？

A. D217 骨塩定量検査4 超音波法で80点*の算定が可能です。
(患者1人につき4月に1回に限り算定 ※2024年4月現在)

Q. 測定した結果を本体に記録できますか？

A. 本体には結果を記録できません。

トラブルシューティング

本製品は、異常を検知すると画面にエラー番号を表示しビープ音が鳴ります。
エラーを解除するためには電源ボタンを押します。

番号	考えられる原因	対処方法
E001	内蔵バッテリーの残量が少ない	ACアダプターを挿して使用する
		バッテリーを充電してから使用する
E002	校正時にプローブが密着していない	レバーを確実にロックして、プローブを密着させた状態で校正する
	校正時にプローブに塗布したゲルが少ない	ゲルを多めにつけ、校正する
E004 E008	機器の内部に異常がある	電源を入れ直して使用してください。 再発する場合、お客様窓口までご連絡ください
E007	測定時に塗布したゲルが少ない	ゲルを多めにつけ、測定する
	測定時、プローブが踵に密着していない	レバーを確実にロックする
		適切な調整用ラバーを選択する
ストッキングや靴下を履いたまま測定した	ストッキングや靴下を脱ぎ、測定する	
E010	測定中に足が動いた	足が動かないように測定してください

上記の対処をおこなってもエラーが解消されない場合は、お客様窓口までご連絡ください。

製品に関するお問い合わせ

メールでのお問合せ liaqus@sigmax.co.jp

当社 Web ページ <https://www.sigmax-med.jp/medical/liaqus>



製造販売業者

日本シグマックス株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1

お客様窓口：TEL.0800-222-6122（通話料無料）

受付時間：9時～17時（平日）※土日、祝日、年末年始を除く

168059
E5-1001-00
2024.06(作成)